

比較思想史論

選択 2単位

高杉 洋平

1. 授業の概要(ねらい)

20世紀の東西文化人の政治思想と行動を検討します。20世紀は「進歩的文化人」の時代でした。良きにつけ悪きにつけ、「進歩的文化人」は人々を動かし(迎合し)、時代の空気を創り上げました。彼らは何を考え、何を目指していたのでしょうか。彼らの行動原理、動機は何だったのでしょうか。20世紀の「俗な」思想に、「俗な」視点でアプローチしてみたいと思います。

院生には学部生以上の高度な読解能力・要約能力・ディスカッション能力が求められます。その能力を錬成することも大きな目標です。したがって学部時代に比べれば授業負担は大きくならざるを得ませんが、乗り越えるべきハードルです。学生の意欲的な参加を期待します。

2. 授業の到達目標

- ①文献を読み、書かれた内容を理解できるようになる。
- ②文献の内容を的確に要約し、発表資料を作成できる。
- ③口頭発表を行い、質疑応答に対処できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点100%

4. 教科書・参考文献

教科書

水谷三公 ラスキとその仲間 中央公論新社

水谷三公 丸山真男 ある時代の肖像 筑摩書房

5. 準備学修の内容

教科書を精読し、レジュメを作成してください。

6. その他履修上の注意事項

受講者は各自で教科書を準備してください。

本講義はゼミ形式とし、受講者は毎回相当量のテキストの読み込みと報告を行うことになります。

院生として相応しいクオリティも要求されます。

したがって授業負担は軽くはありません。強い意欲を持って臨んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 報告・ディスカッション
- 【第3回】 報告・ディスカッション
- 【第4回】 報告・ディスカッション
- 【第5回】 報告・ディスカッション
- 【第6回】 報告・ディスカッション
- 【第7回】 報告・ディスカッション
- 【第8回】 報告・ディスカッション
- 【第9回】 報告・ディスカッション
- 【第10回】 報告・ディスカッション
- 【第11回】 報告・ディスカッション
- 【第12回】 報告・ディスカッション
- 【第13回】 報告・ディスカッション
- 【第14回】 報告・ディスカッション
- 【第15回】 まとめ・補足(LMS)